

# 長町中らいぶらりい

今年は寄贈もあってたくさんの本を購入することができました。  
まだ届いていない本もありますので、届くのを楽しみにしてください。



春休みは本の貸出しがありません。

3学期の貸出しは3月7日まで（3年生は2月末まで）。

気になる本を探しに図書館に来てください。



「消された1行がわかるどいきなり怖くなる話」  
藤白 圭 ワニブックス  
消された1行に何が書いてあるかがわかると、一気に怖くなる! 学校で流行っている夢の話「悲鳴をあげたら死んでしまう夢」のほか、「間違い電話」「隣人」など、サクッとすぐ読める90作を収録するホラー短編。



「世界でいちばん透きとおった物語」  
杉井 光 新潮社  
大御所ミステリ作家宮内彰吾が死去。妻帯者ながら外にできた子供が僕だ。宮内の長男からの連絡をきっかけに、父が最後に書いていたらしい「世界でいちばん透きとおった物語」を探しはじめる。



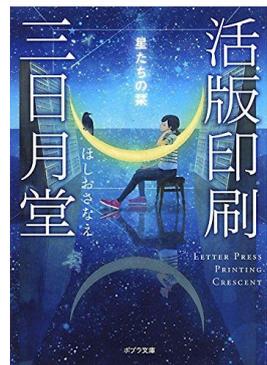
「教室に並んだ背表紙」  
相沢 沙呼 集英社  
わたしは欠陥品なのかもしれない。中学校の“図書室”を舞台に、6人の少女たちのままならない思春期の友人関係や未来への漠然とした不安、揺れる心模様を繊細に描く、全6編の連作短編集。



「早朝始発の殺風景」  
青崎 有吾 集英社  
青春は、気まずさでできた密室だ。始発の電車で、放課後のファミレスで、観覧車の Gondola の中で。不器用な高校生達の関係が、小さな謎と会話を通じて、少しずつ変わってゆく。短編5編。



「ただいま神様当番」  
青山 美智子 宝島社  
ある朝、目を覚ますと腕に大きく「神様当番」と文字が! 突然現れた「神様」の願いを叶えないと、その文字は消えないようで…。笑ってほろりと泣ける、5つの物語。



「活版印刷三日月堂」  
ほしお さなえ ポプラ社  
古びた印刷所「三日月堂」が営むのは、昔ながらの活版印刷。そんな三日月堂には色々な悩みを抱えたお客が訪れ、活字と言葉の温かみによって心を解きほぐされていく。

# これから届く本の一覧です。お楽しみに。

書名	著者名	出版社
「5分間ノンストップショートストーリー 怪活倶楽部」	永良 サチ	PHP 研究所
「5秒後に意外な結末 ミダス王の黄金の指先」	桃戸 ハル	Gakken
「spring」	恩田 陸	筑摩書店
「ルール！」	工藤 純子	講談社
「アンドロイドの恋なんて、おとぎ話みたいってあなたは笑う？」	青谷 真未	ポプラ社
「手で見るぼくの世界は」	檜崎 茜	くもん出版
「君の嘘と、やさしい死神」	青谷 真未	ポプラ社
「ヤングタイマーズのお悩み相談室」	石川 宏千花	くもん出版
「予測不能ショートストーリーズ 部活動編・文化祭編」	にかいどう 青	講談社
「あなたの言葉を」	辻村 深月	毎日新聞出版
「ナカスイ！」	村崎 なぎこ	祥伝社
「歌われなかった海賊へ」	逢坂 冬馬	早川書房
「捨てられる魚たち」	榎木 春幸	講談社
「君はどう生きるか」	鴻上 尚史	講談社
「藍を継ぐ海」	伊与原 新	新潮社
「宙わたる教室」	伊与原 新	文藝春秋
「I am a Dreamer」	小田 凱人	KADOKAWA
「おもしろすぎる山図鑑」	ひげ隊長	主婦の友社
「こども六法 第2版」	山崎 聡一郎	光文堂
「『文系?』『理系?』に迷ったら読む本」	竹内 薫	PHP 研究所
「壁を超えるマインドセット」	木村 敬一	プレジデント社
「10代のための人間関係の「ピンチ!」自分で解決マニュアル」	山田 洋一	小学館
「正しさってなんだろう」	佐藤 優	Gakken
「ヤバすぎる!偉人の勉強やり方図鑑」	真山 知幸	大和書房
「迷いのない人生なんて」	共同通信社	岩波書店
「戦国武将10番勝負」	かみゆ歴史編集部	Gakken
「本を読んだことのない32歳がはじめて本を読む」	かまど、みくのしん	大和書房
「もう一度、泳ぐ」	池江 璃花子	文藝春秋
「あした、弁当をつくる」	ひこ・田中	講談社
「いのちをまもる図鑑 最強のピンチ脱出マニュアル」	滝乃 みわこ	ダイヤモンド社
「子どものころはしょぼかった!?すごい人の10歳図鑑」	齋藤 孝	サンマーク出版
「空飛ぶクルマ大研究 しくみや技術から用途・課題まで」	中野 冠	PHP 研究所
「ぼくらの(魔)大戦」	宗田 理	KADOKAWA
「ぼくの色、見つけた!」	志津 栄子	講談社
「私が鳥のときは」	平戸 萌	河出書房新社
「透明なルール」	佐藤 いつ子	KADOKAWA
「小説ブルーロック1~6」	金城 宗幸	講談社